



2026 年 5 月 12 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 JMS
 代 表 者 名 代表取締役社長 桂 龍司
 (コード番号 7702 東証スタンダード市場)
 問 合 せ 先 執行役員コーポレート本部長 落合 芳紀
 TEL 082-243-5844

特別損失（事業再編損）の計上及び通期連結業績予想との差異に関するお知らせ

2026 年 3 月期通期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）において、下記のとおり特別損失（事業再編損）を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、2026 年 2 月 6 日に公表しました連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失（事業再編損）の計上について

当社は、2026 年 2 月 6 日付「2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正」にてお知らせしておりますとおり、中期経営計画 2027 で掲げるグループ最適地生産を目指した構造改革の一環として、海外を中心に生産拠点の再編に取り組んでおります。これに伴い、韓国の生産拠点において製造設備の減損、棚卸資産の廃棄等により、事業再編損 934 百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、2026 年 4 月以降、韓国拠点は販売会社へ移行し、これまで培ってきた販売チャネルを有効活用したマーケティング及び販売活動を展開することで、当社グループの収益拡大に寄与してまいります。

2. 2026年3月期通期連結業績予想と実績値の差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	65,000	200	200	△800	△32円63銭
今回発表実績 (B)	65,845	381	356	△783	△31円97銭
増減額 (B－A)	845	181	156	17	
増減率 (%)	1.3	90.7	78.3	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	69,749	872	514	89	3円65銭

3. 差異の理由

売上高は、海外主力の A V F（血液透析用針）や、国内注力品である薬剤調製・投与クローズドシステム、摂食嚥下関連用品の販売が引き続き伸長しました。利益面では、これらの販売伸長に加え、物価高騰に伴う価格転嫁の進展が収益改善に寄与しました。

この結果、売上高、営業利益及び経常利益については、前回公表予想を上回りましたが、親会社株主に帰属する当期純利益については、韓国の生産拠点に関する特別損失の計上額が当初見込みを上回ったことから、概ね前回公表予想どおりとなりました。

なお、2026 年 3 月期の配当予想については、1 株当たり期末配当 8 円 50 銭を予定しております。

以 上